

NTN

Make the world **NAMERAKA**

2026年3月期 第2四半期
決算説明会資料

DRIVE

Digitalization Resources Innovation Variable cost reformation Efficiency improvement

NTN100

Final

2025.11.5

NTN株式会社



- I. 決算のポイントと「DRIVE NTN100」 Finalの進捗
- II. 2026年3月期第2四半期決算と通期見通し

前年同期比 減収増益：規模減と関税影響を、売価改善とコスト削減でカバーし増益

- 売上高は、欧州・中国を中心とした自動車向けの需要が低迷し、前年同期比で減収
- 営業利益は、規模の減少と米国関税の影響を、売価改善および変動費・固定費の削減でカバーし、前年同期比で増益
- 棚卸資産は、前年度末比で増加したものの、為替の影響を除く物量では減少

(億円)	2025年3月期		2026年3月期	
	上期実績①	通期実績	上期実績②	前年同期比② - ①
売上高	4,139	8,256	4,023	△117 除く為替(△1.1%)
営業利益 (率)	99 (2.4%)	230 (2.8%)	129 (3.2%)	+29 (+0.8pt)
経常利益	35	105	87	+52
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 21	△ 238	31	+52
為替レート 1USD	152.5円	152.4円	146.0円	▲6.5円
1EURO	165.8円	163.6円	168.0円	+2.3円
棚卸資産	2,553	2,444	2,460	+16(3月末比)
設備投資	114	322	130	+16
フリー・キャッシュフロー	28	197	143	+115

業績予想を上方修正：規模減と関税影響を織り込むも、売価改善とコスト削減で前回公表比 増収増益

- 売上高は、日、欧、中の自動車向け需要の鈍化およびアフターマーケットの需要回復の遅れにより、物量が減少する一方、米国関税分の転嫁を含む売価改善と為替影響により、前回公表比で増収
- 営業利益は、規模の減少と関税影響を、売価改善に加え、調達改革による変動費低減、規模減少に応じた固定費コントロールなどでカバーし、前回公表比で増益
- 特別損益は、前回公表から変更無し、中期経営計画で掲げた構造改革を日、米、中で計画通り推進
- 未定としていた2026年3月期配当予想を公表、中間配当5.5円、期末配当予想5.5円を合わせ、1株当たり年間11円予想

(億円)	2025年3月期	2026年3月期					
	通期実績①	上期実績	下期予想	通期予想②	② - ①	通期(前回公表)③	② - ③
売上高	8,256	4,023	4,027	8,050	△206	7,900	+150
営業利益	230	129	131	260	+30	240	+20
(率)	(2.8%)	(3.2%)	3.3%	3.2%	(+0.4pt)	3.0%	(+0.2pt)
経常利益	105	87	43	130	+25	110	+20
特別損益	△ 191	△ 4	△ 76	△ 80	+111	△ 80	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 238	31	△ 71	△ 40	+198	△ 60	+20
為替レート 1USD	152.4円	146.0円	145.0円	145.5円	△6.9円	140.0円	+5.5円
1EURO	163.6円	168.0円	170.0円	169.0円	+5.4円	160.0円	+9.0円
棚卸資産	2,444	2,460	2,300	2,300	△144	2,220	+80
設備投資	322	130	190	320	△2	310	+10
フリー・キャッシュフロー	197	143	57	200	+3	200	0

③ 事業形態別の業績予想

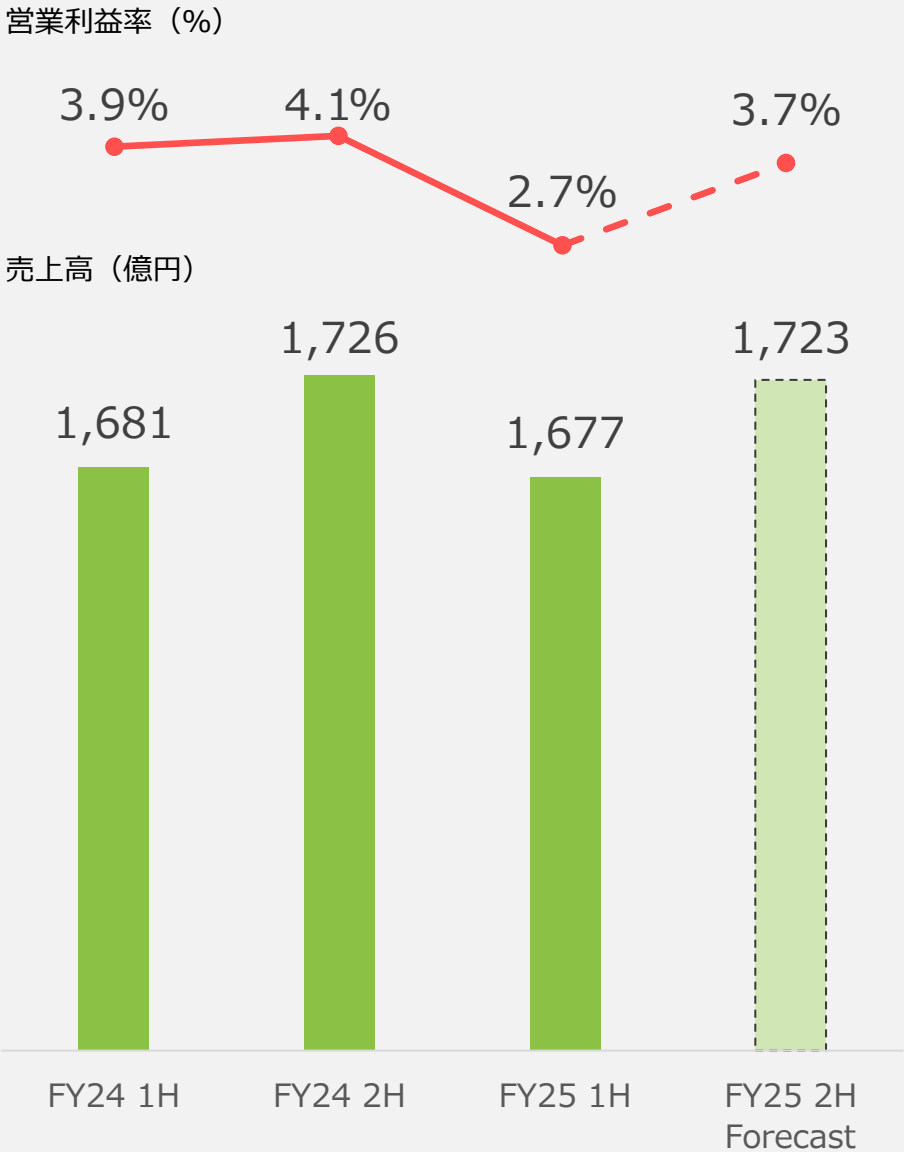
		2026年3月期							
		今回修正						前回公表	
		上期実績		下期予想		通期予想			
(億円)								通期	
売上高(構成比率)	軸受他	1,677	41.7%	1,723	42.8%	3,400	42.2%	3,480	44.1%
	CVJアクスル	2,346	58.3%	2,304	57.2%	4,650	57.8%	4,420	55.9%
	合計	4,023	100.0%	4,027	100.0%	8,050	100.0%	7,900	100.0%
営業利益(率)	軸受他	46	2.7%	64	3.7%	110	3.2%	125	3.6%
	CVJアクスル	83	3.5%	67	2.9%	150	3.2%	115	2.6%
	合計	129	3.2%	131	3.3%	260	3.2%	240	3.0%

売上高 (億円)



営業利益 (億円)





業種別販売概況

	FY23	vs FY24	vs FY25 (Forecast)	
 建設機械		↑	→	市況、当社販売ともに前年並み
 航空・宇宙		↑↑	↑	ヘリ・防衛等を含めて、好調を維持
 農業機械		↓↓	→	購買意欲の戻り、回復の兆し、下げ止まり
 変減速機		↓↓↓	↑↑	自動化要求高水準、需要が堅調
 鉄道車両		↑↑	↑	中国を含むアジアで好調を維持
 工作機械		↓	→	需要は回復しつつあり、増加傾向
 風力発電		↓↓↓	↑↑	米国向けで需要が増加
 自動車		↓	↓	ICE車向け、輸出向けの減少

航空・宇宙ビジネスの強化

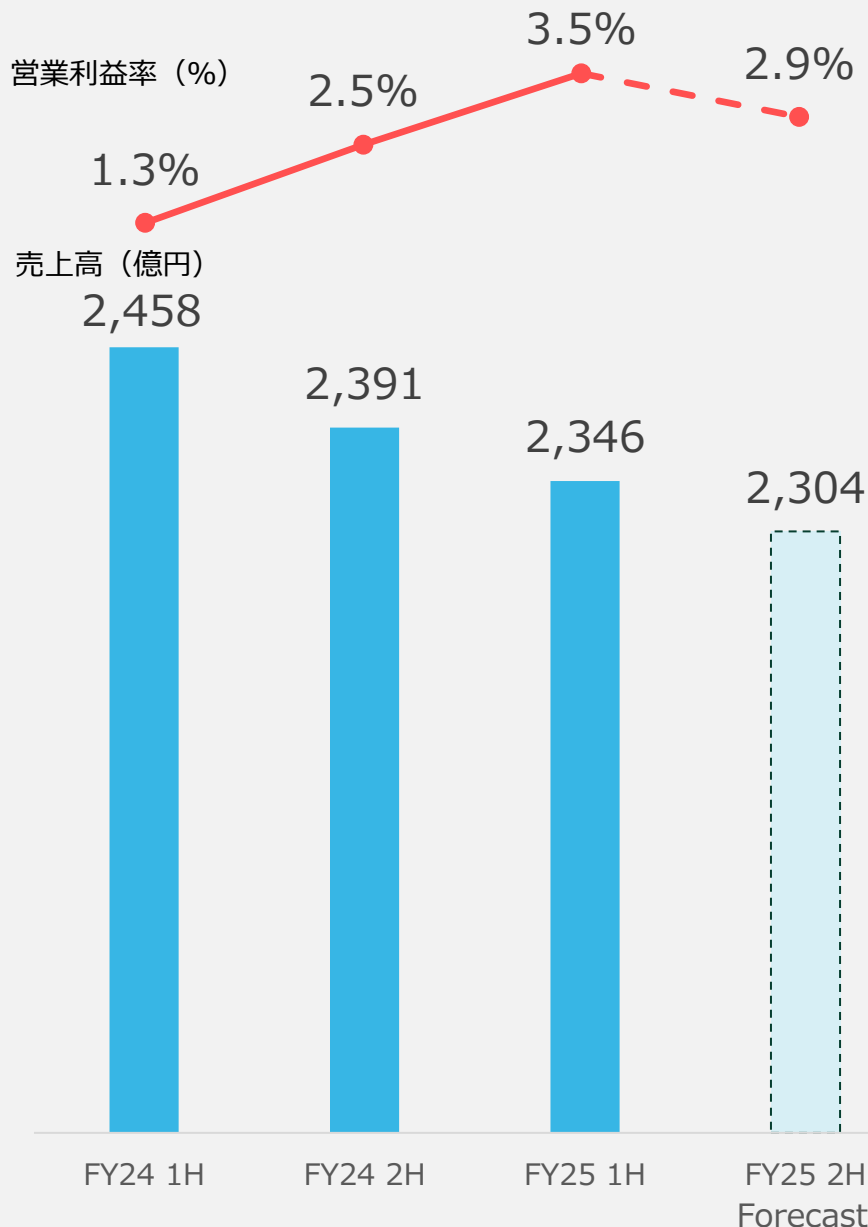
■ コロナ禍以降、航空機向け需要は着実に回復し、今後も需要は拡大する見通し



NTN Europe (Argonay)

- 新設備導入、建屋拡張と改修等、FY2030までに**50億円超**を投資し、生産能力を4割増強

④-2 2025年度の取り組み — CVJアクスル —



事業概況

■ 販売状況

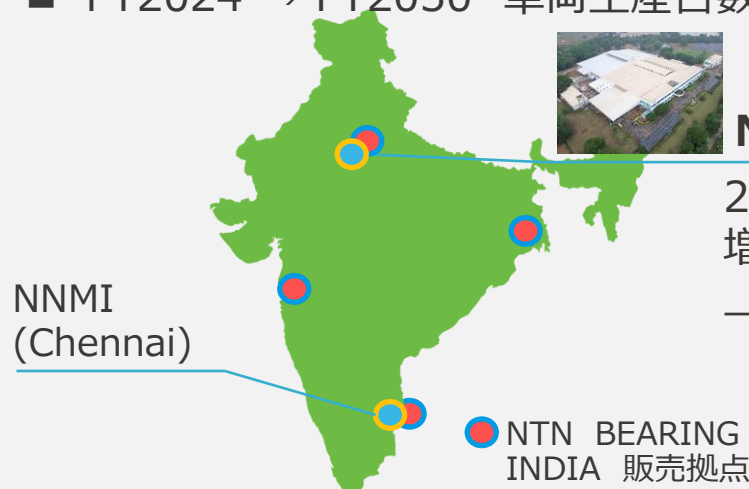
- 上期は、アジアを除き、全地域で需要が減少し、前年同期を下回る
- アジアは、インドが前年同期比で販売増が継続し、順調に推移
- 下期も、日本、欧州、中国を中心に、需要の低迷が継続

■ 利益改善

- 設計・調達改革による変動費減、構造改革の効果発現および需要減少に伴う固定費コントロールにより、利益改善が進行
- 米国関税影響は、売価転嫁の見通しが立ちつつあり、今期は9割程度を転嫁予定

インド ビジネスの強化

- FY2024 → FY2030 車両生産台数30%以上増 (S&Pグローバル社予測)

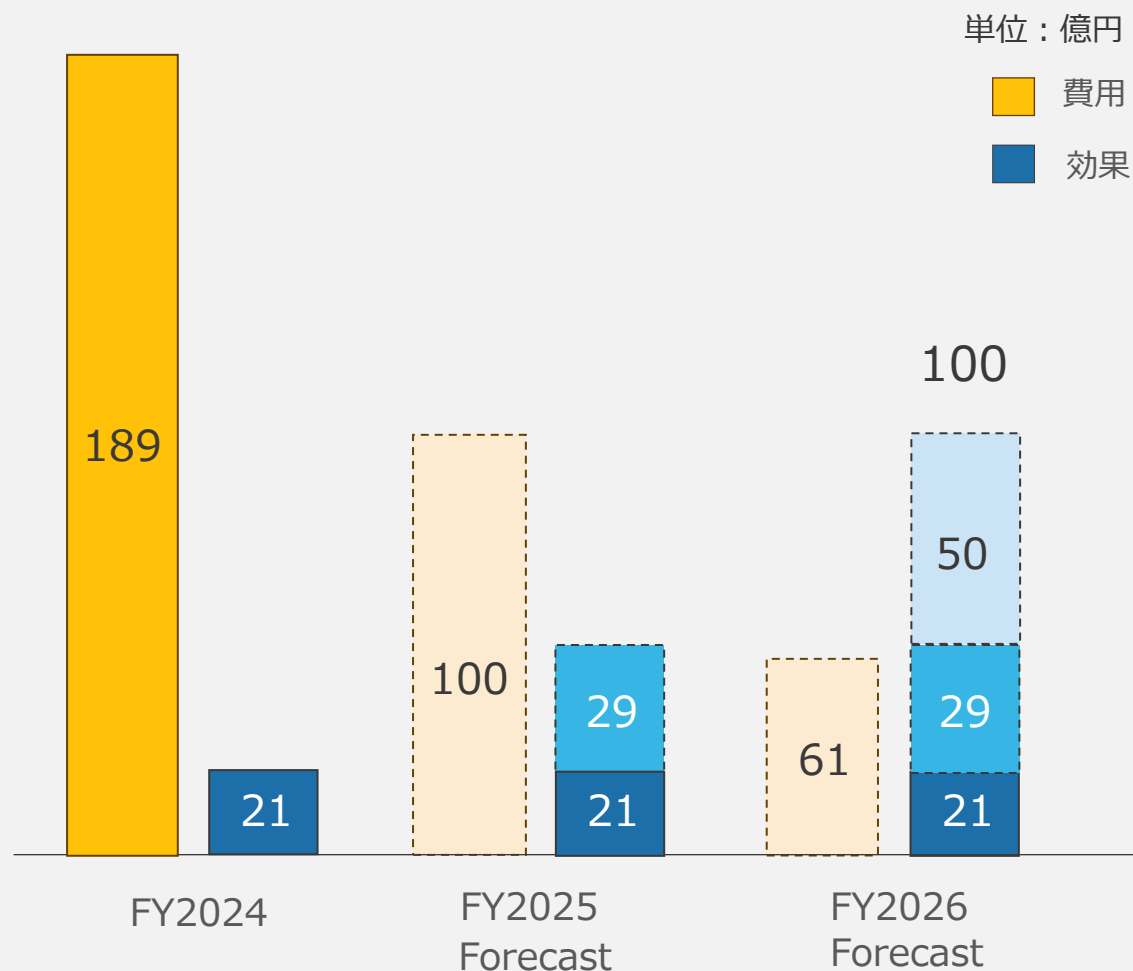


NTN NEI Manufacturing India(Bawal)

20億円超を投資し、CVJ内部部品の生産能力増強とR&D体制構築に着手

→ **コスト競争力向上、顧客とのパートナーシップ強化**
事業目標：FY2030までにCVJ売上高を倍増(FY2024比)

構造改革（350億円/3年間）は、計画を前倒して進捗
構造改革の効果として、2023年度比で約100億円/3年目を計画



2025年度 上期実績

日本：風力発電装置主軸用など超大形軸受の生産再編に着手

2025年度 下期計画

日本、米州、中国を中心に生産再編を推進

■ 足元は、米州・欧州を中心に需要回復に遅れ

産業機械向けアフターマーケット・ビジネスの拡大

日本（高シェア地域）

- 軸受LCM※確立による
サービス・ソリューションビジネス拡大
※軸受ライフサイクルマネジメント

中・印・韓（低シェア地域）

- 現地生産・完成品調達先の多様化
- ハイエンド市場へ日本品投入

アセアン・中東・アフリカ・中南米（開拓地域）

- アフターマーケット向け売れ筋在庫拡充と即納システム(FIRST)適用拡大を
背景に代理店網を拡充、販売拡大

北米（重点拡販地域）

- 供給力の強化と
在庫品揃えの拡充

欧州（競合激戦地域）

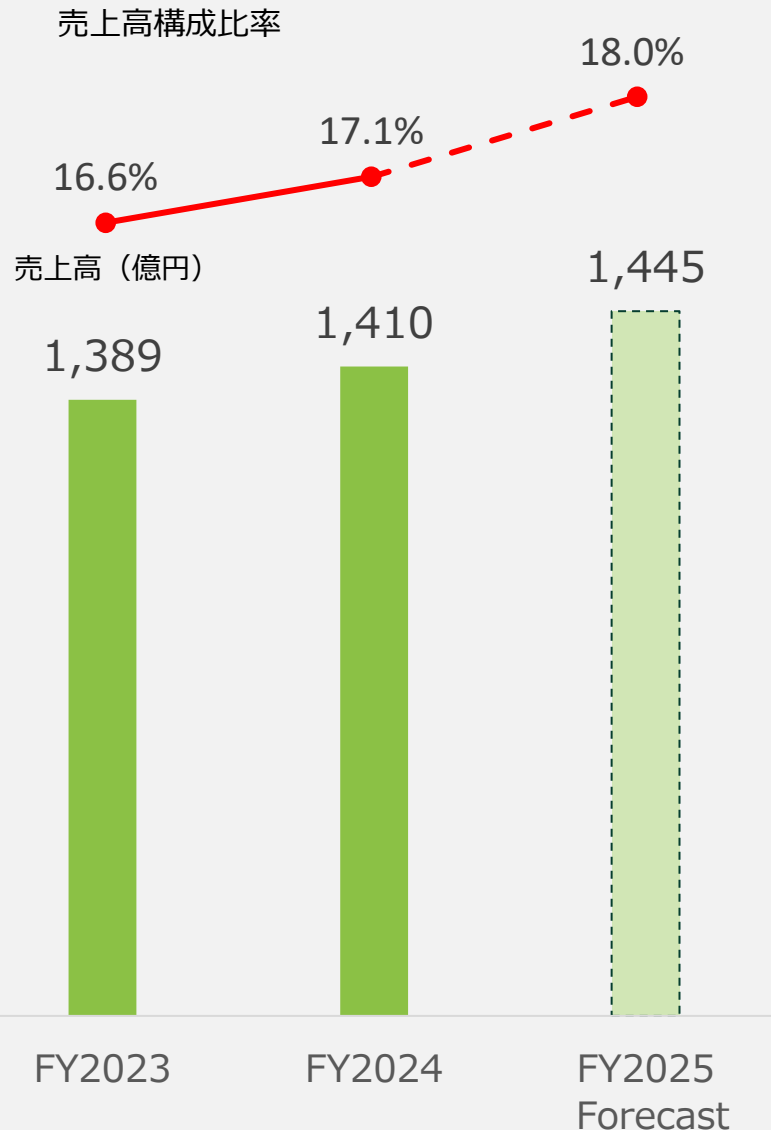
- 価格の適正化と供給力の
強化

自動車向けアフターマーケット・ビジネスの拡大

- 車両保有台数が多い北米・欧州、今後車両保有台数の増加が見込まれる
アセアン・南米をターゲット
- 完成品調達先の多様化、製品ラインアップの拡充
- 5月にアフリカ・チュニジアのLTM社に資本参加し、
ショックアブソーバーをラインアップに追加
- NTN Europe 認証ガレージ制度の導入
(MySNR Certified Garage)



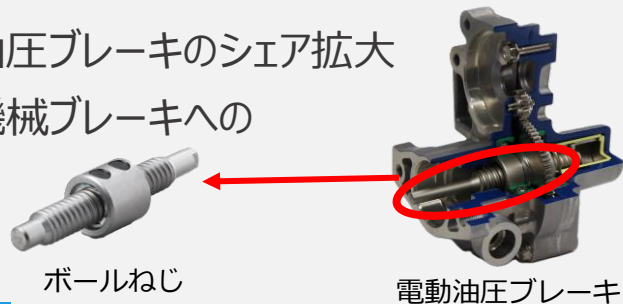
ショックアブソーバー (チュニジア・チュニス) LTM社



電動化対応

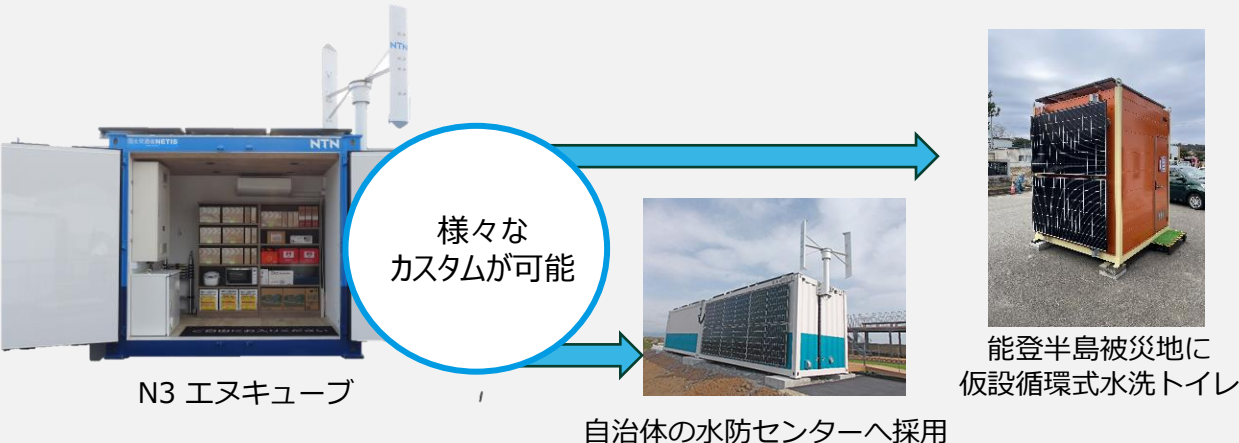
- 自動車の電動化に伴い、**電動ブレーキ需要が拡大**
- 電動ブレーキ用**ボールねじユニット**の生産能力を、2030年度には**8倍※に拡大** ※FY2024比

- ・ 現在、主流である電動油圧ブレーキのシェア拡大
- ・ 今後、主流になる電動機械ブレーキへの先行開発参入



自然エネルギー商品

- 国や自治体が、**防災計画等を策定、見直し**
- 防災強化を目的として、**N³ エヌキューブ**を全国の道の駅に提案中



- e-Axleや減速機などの駆動装置に使用される転がり軸受には、**高速回転に対応しながら、小型・軽量化が必要**
- 当社が独自開発した**特殊熱処理技術「HA-C」**を転がり軸受に適用した**「HA-C軸受」**

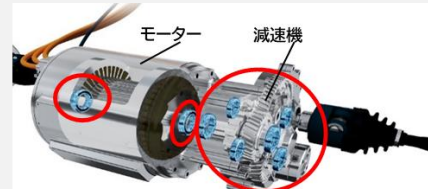


2025年

<機械・ロボット部品賞 受賞>



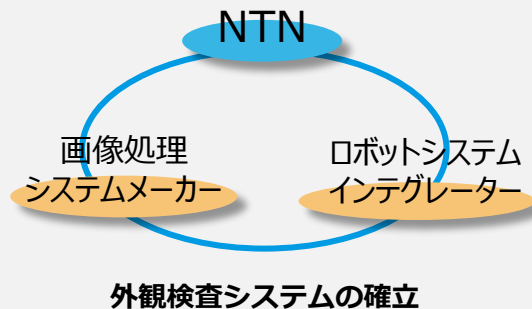
より小型の軸受に置換可能



平行軸e-Axleにおける適用例(赤丸部分)

ロボット周辺モジュール

- 製造現場においては**労働人口の減少や省人化**を背景に各工程の**自動化が進行、検査対象部品の大型化**
- 当社が独自開発した**手首関節モジュール「i-WRIST」**に、**システムメーカーとインテグレーターが連携し、ソリューションを提案**



手首関節モジュール「i-WRIST」を活用した外観検査装置

- I. 決算のポイントと「DRIVE NTN100」 Finalの進捗
- II. 2026年3月期第2四半期決算と通期見通し

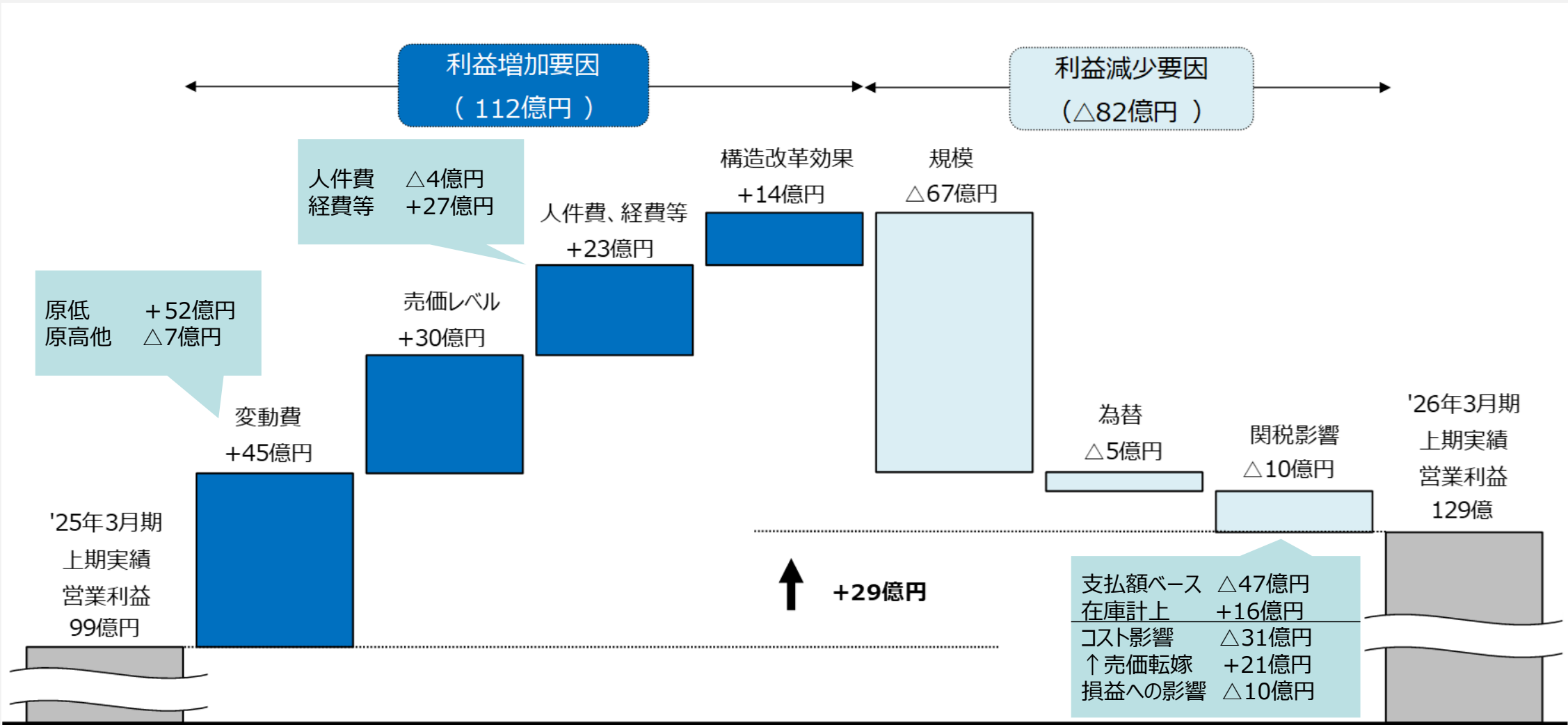
① 2026年3月期 連結主要指標

						(参考)		
(億円)	'25年3月期			'26年3月期		増減		
	上期実績 ①	下期実績	通期実績	上期実績 ②	通期見通し (今回公表)	対 前年同期 ②-① 除く為替	合計	為替
売上高	4,139	4,116	8,256	4,023	8,050		△ 117	△ 72
営業利益	99	130	230	129	260		29	△ 5
(率)	(2.4%)	(3.2%)	(2.8%)	(3.2%)	(3.2%)		(0.8%)	
経常利益	35	70	105	87	130		52	△ 4
特別損益	△ 6	△ 184	△ 191	△ 4	△ 80		2	△ 0
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 21	△ 217	△ 238	31	△ 40		52	△ 2
棚卸資産	2,553	2,444	2,444	2,460	2,300	(※)	16	52
フリー・キャッシュ・フロー	28	169	197	143	200		115	-
為替レート	1USD	152.5円	152.4円	152.4円	146.0円	△ 6.5 円		
	1EURO	165.8円	161.5円	163.6円	168.0円	2.3円		
'26年3月期年間配当				11.0円	(中間5.5円・期末5.5円)			

(※)棚卸資産は'25年3月末よりの増減額

②-1 営業利益増減

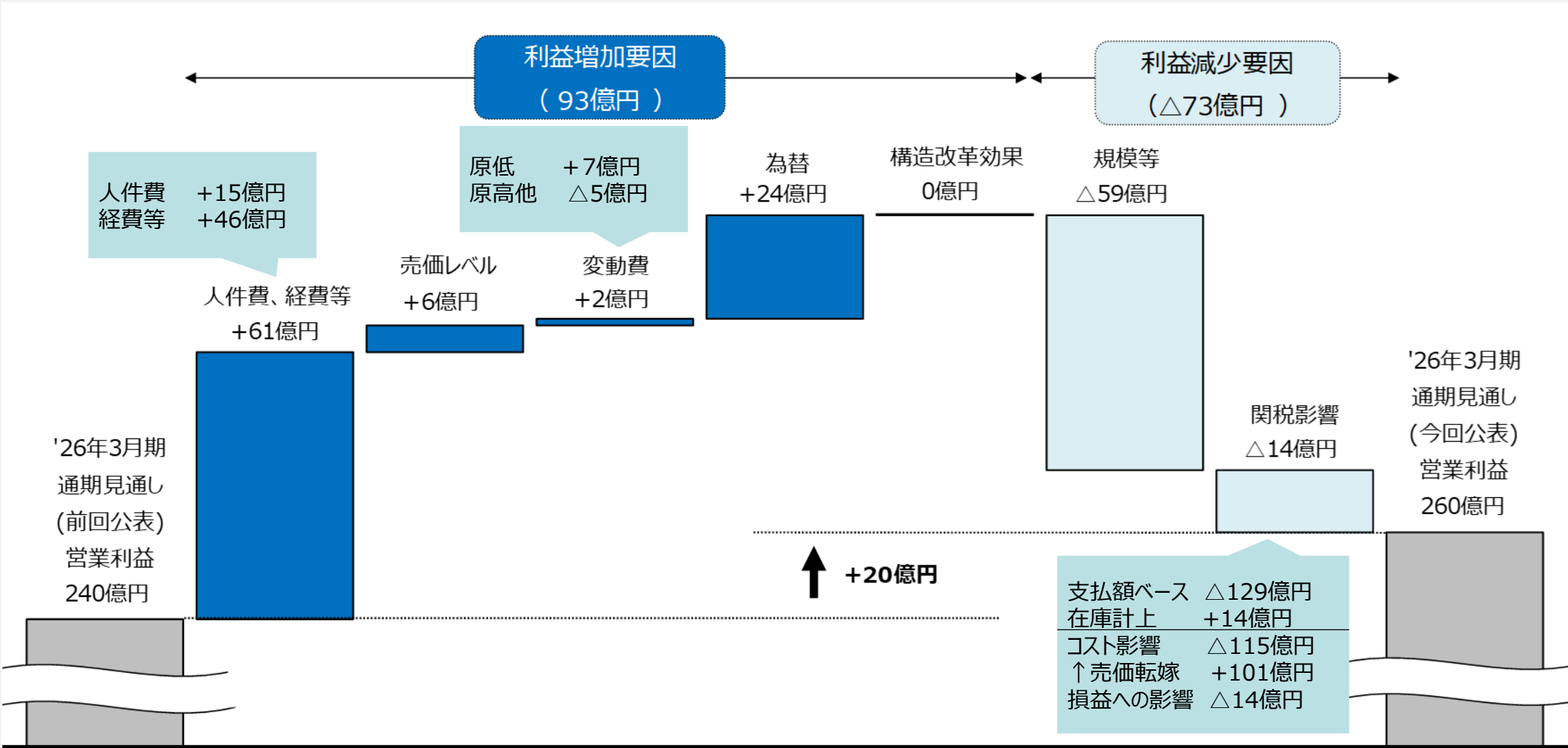
‘25年3月期 上期< 実績 >
vs ‘26年3月期 上期 < 実績 >



	25年3月期上期 実績	26年3月期上期 実績	増減	為替	売価	関税転嫁	物量
売上高	4,139 億円	4,023 億円	△117 億円	△72 億円	+30 億円	+21 億円	△96 億円

②-2 営業利益増減

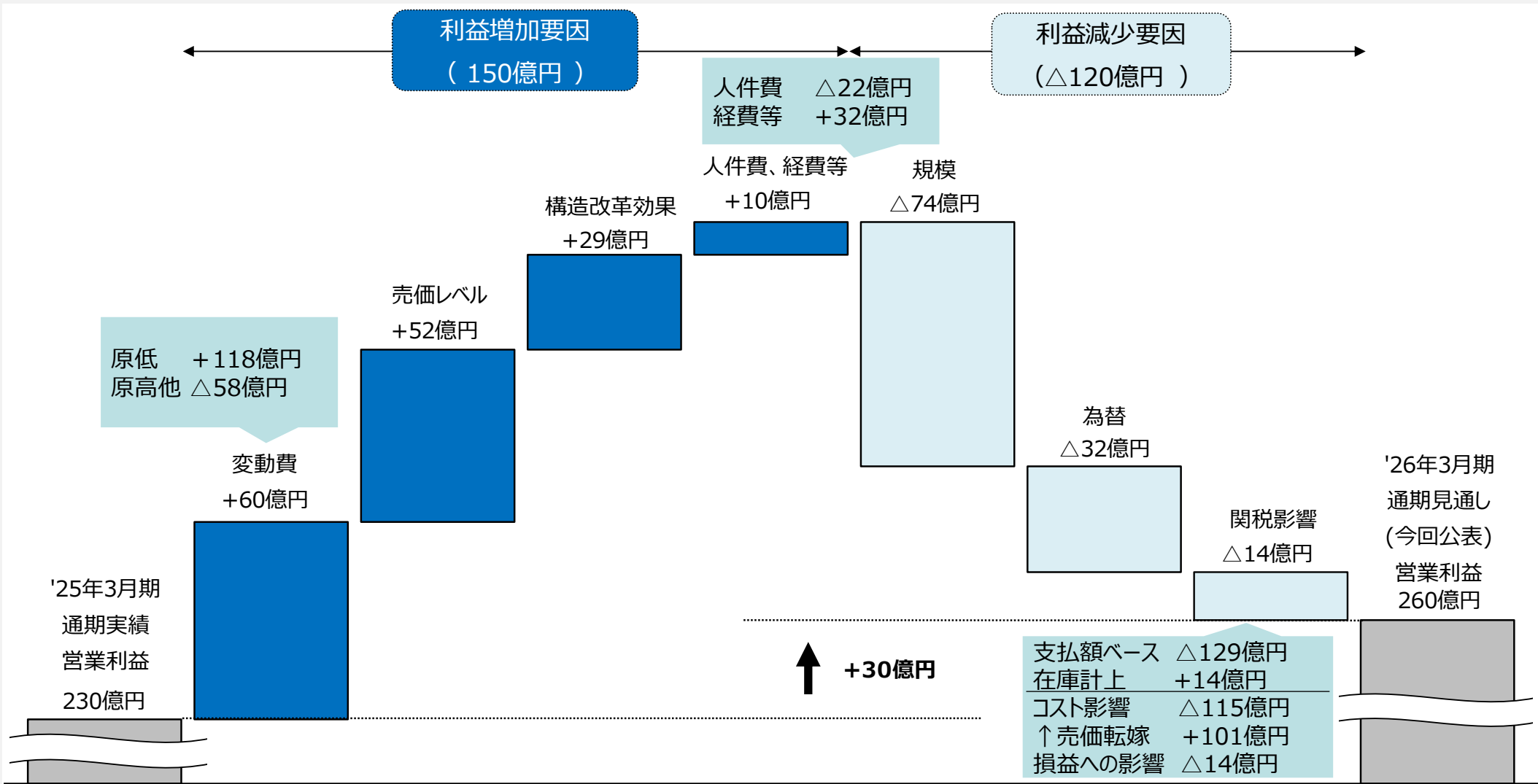
‘26年3月期 通期<見通し(前回公表)>
vs ‘26年3月期 通期<見通し(今回公表)>



	26年3月期通期見通し(前回公表)	26年3月期通期見通し(今回公表)	増減	為替	売価	関税転嫁	物量
売上高	7,900 億円	8,050 億円	+150 億円	+218 億円	+6 億円	+101 億円	△175 億円

②-3 営業利益増減

‘25年3月期 通期 <実績>
vs ‘26年3月期 通期<見通し(今回公表)>



	25年3月期通期 実績	26年3月期通期 見通し(今回公表)	増減	為替	売価	関税転嫁	物量
売上高	8,256 億円	8,050 億円	△206 億円	△132 億円	+52 億円	+101 億円	△226 億円

③所在地別売上高(グループ内売上高除く)

(億円)	上期 実績 ①	'25年3月期 下期 実績	通期 実績	'26年3月期		増減			(参考)
				上期 実績 ②	通期 見通し (今回公表)	対 前年同期 ②-①			'26年3月期 通期 見通し (前回公表)
						合計	除く為替	為替	
日本	1,045	1,107	2,152	1,054	2,160	9	9	△ 0	2,215
米州	1,398	1,297	2,695	1,324	2,605	△ 74	△ 8	△ 66	2,400
欧州	924	939	1,863	904	1,830	△ 20	△ 37	17	1,810
アジア他	772	774	1,545	740	1,455	△ 31	△ 9	△ 22	1,475
合 計	4,139	4,116	8,256	4,023	8,050	△ 117	△ 45	△ 72	7,900

※2025年3月期 第2四半期より顧客地域別売上高から法人所在地別売上高(グループ内売上高除く)に変更しています。

④事業形態別売上高・営業利益

＜事業形態別売上高＞

(億円)	上期 実績 ①	'25年3月期 下期 実績	通期 実績	'26年3月期		増減			(参考) '26年3月期 通期 見通し (前回公表)
				上期 実績 ②	通期 見通し (今回公表)	対 前年同期 ②-①		為替	
						合計	除く為替	為替	
軸 受 他	1,681	1,726	3,407	1,677	3,400	△ 5	17	△ 21	3,480
CVJ アクスル	2,458	2,391	4,849	2,346	4,650	△ 112	△ 62	△ 51	4,420
合 計	4,139	4,116	8,256	4,023	8,050	△ 117	△ 45	△ 72	7,900

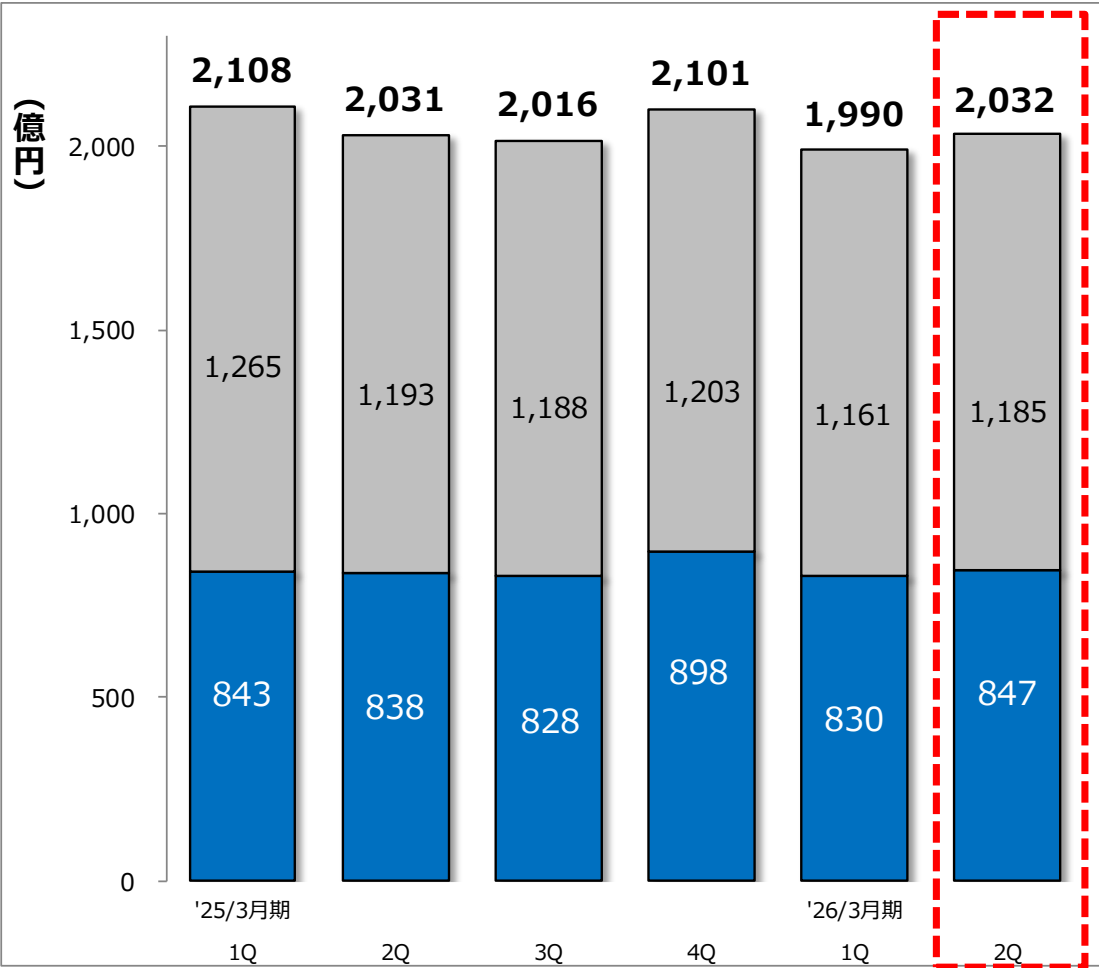
＜事業形態別営業利益＞

(億円)	上期 実績 ①	'25年3月期 下期 実績	通期 実績	'26年3月期		増減	'26年3月期 通期 見通し (前回公表)
				上期 実績 ②	通期 見通し (今回公表)	対 前年同期 ②-①	
軸 受 他	66	70	137	46	110	△ 21	125
CVJ アクスル	33	60	93	83	150	50	115
合 計	99	130	230	129	260	29	240

⑤事業形態別業績（四半期推移）

売上高

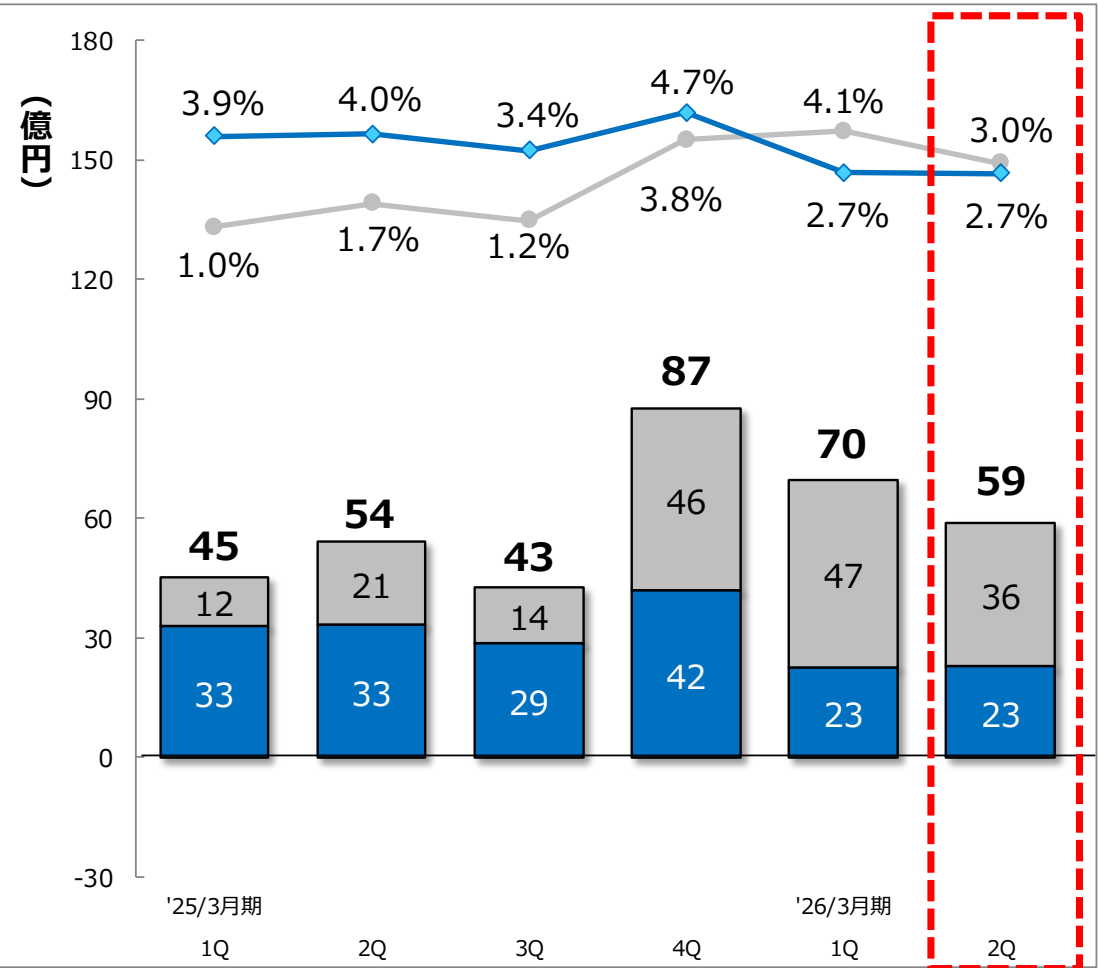
■ 軸受他 ■ CVJアックスル



内、アフターマーケット	354 億円	345 億円	344 億円	366 億円	339 億円	365 億円
-------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

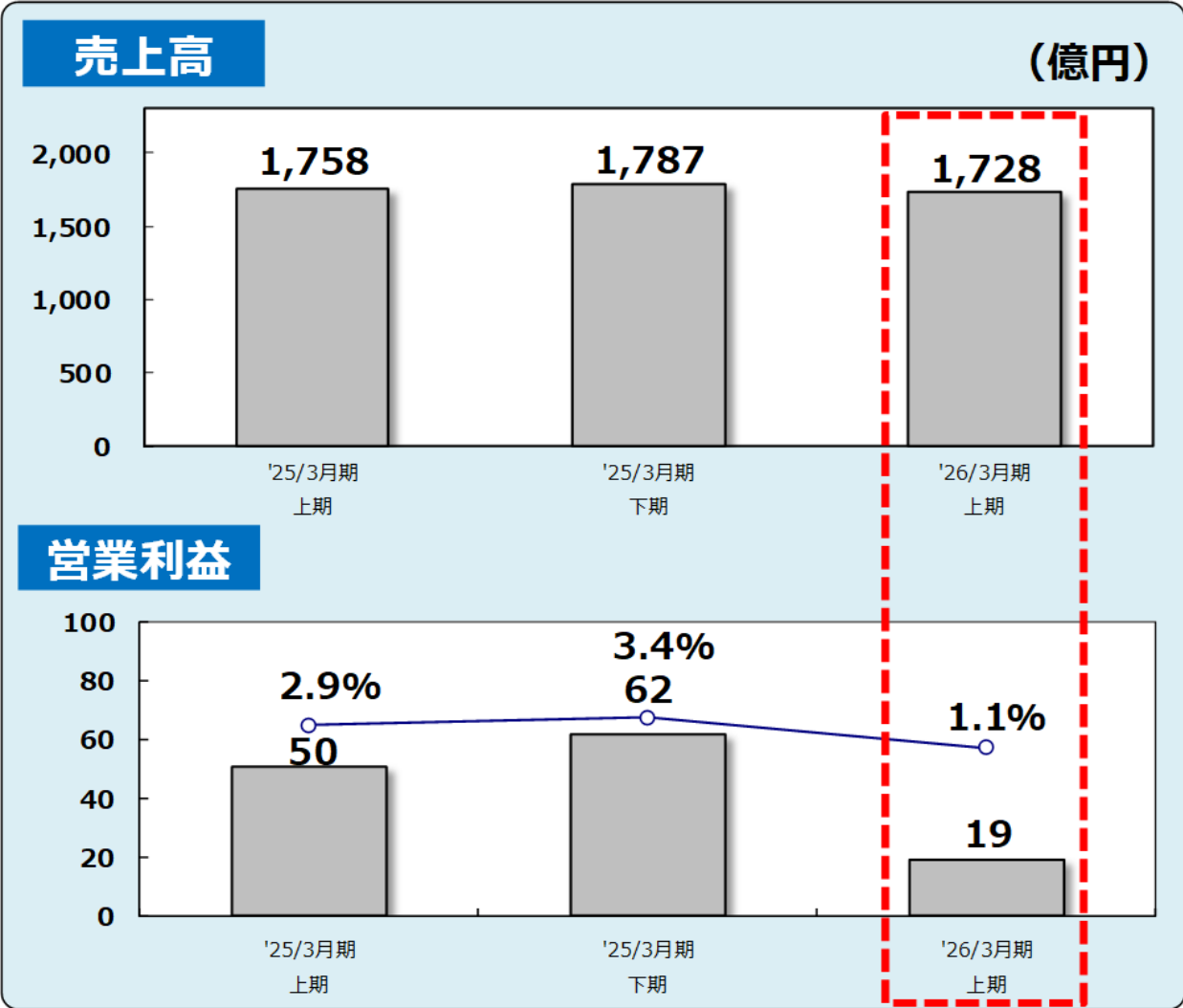
営業利益/営業利益率

■ 軸受他 ■ CVJアックスル

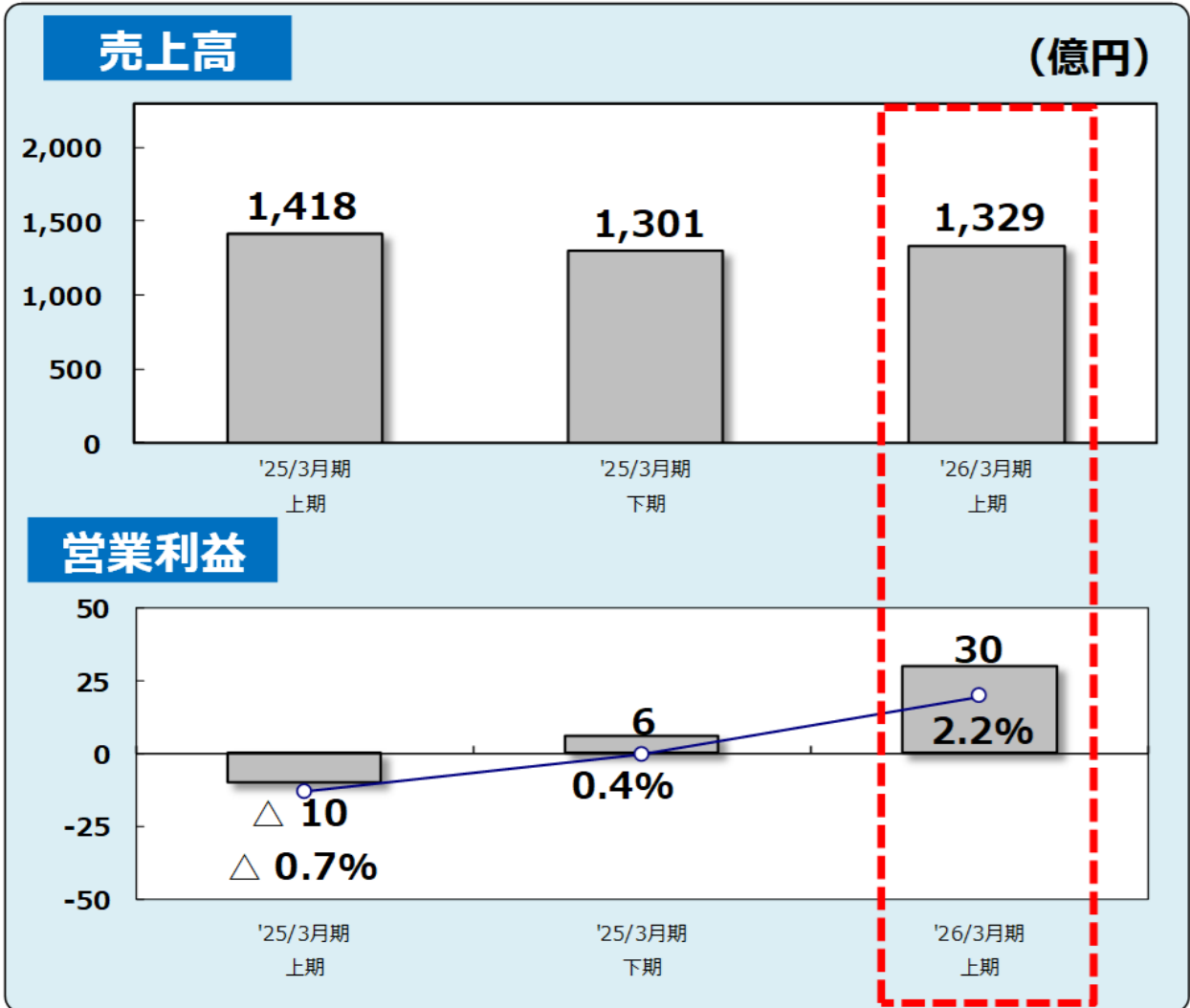


⑥- 1 所在地別 売上高・営業利益（日本・米州）

《 日本 》



《 米州 》

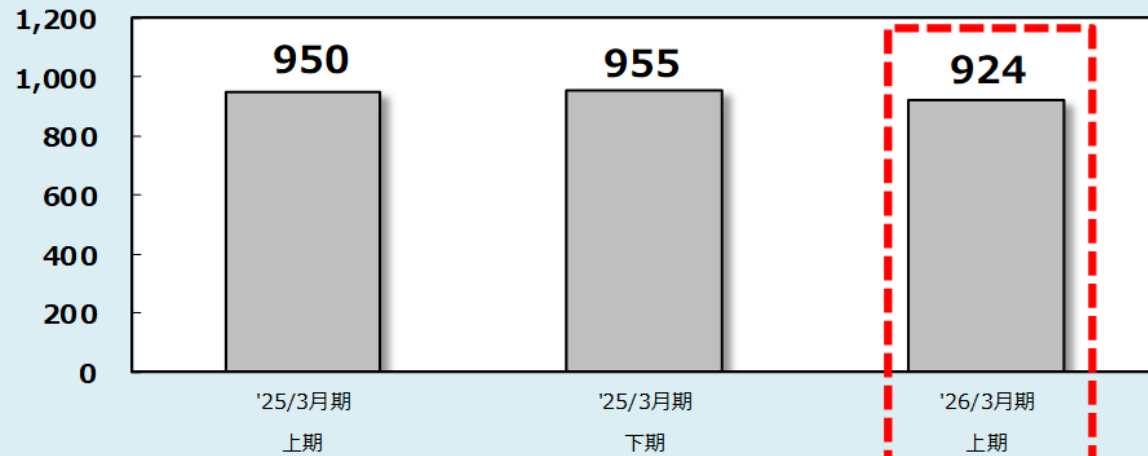


⑥-2 所在地別 売上高・営業利益（欧州・アジア他）

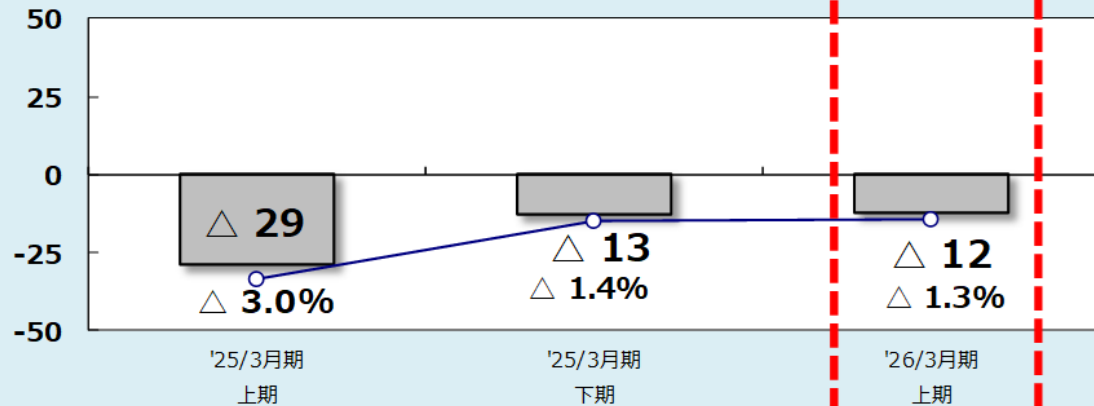
《 欧州 》

売上高

(億円)



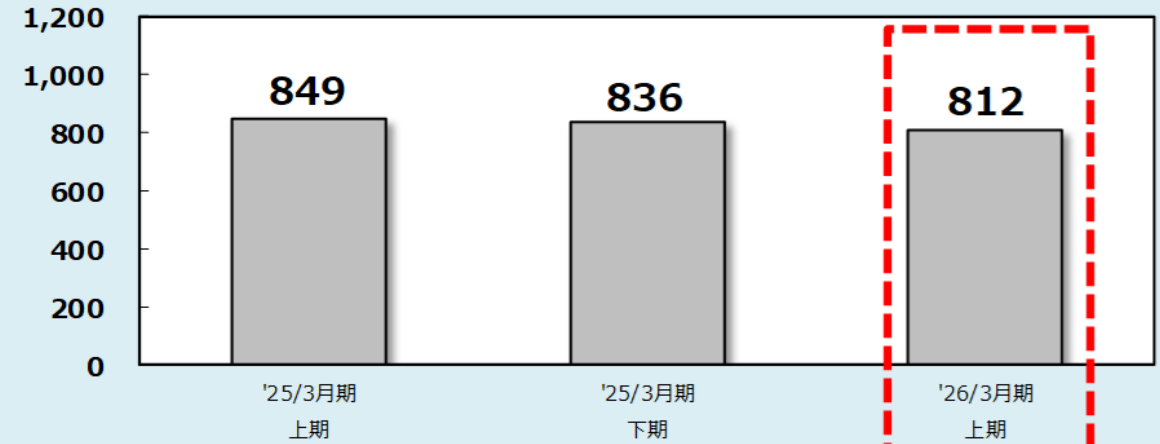
営業利益



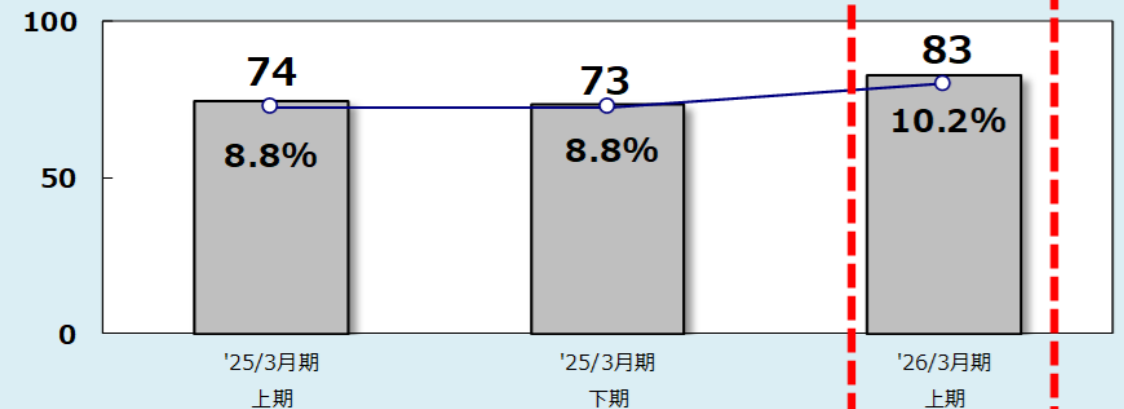
《 アジア他 》

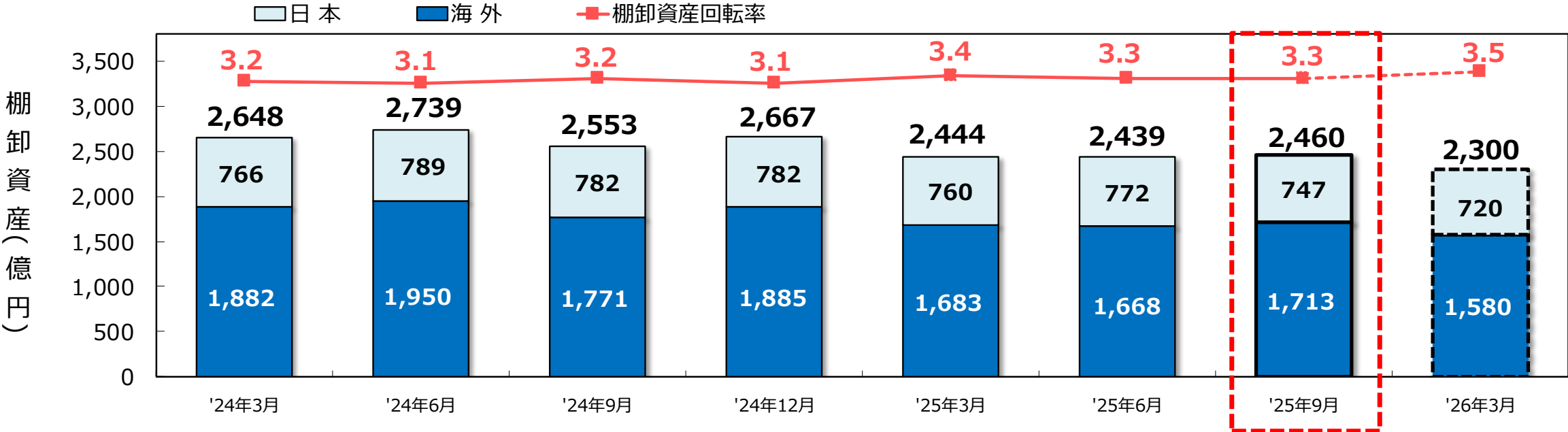
売上高

(億円)



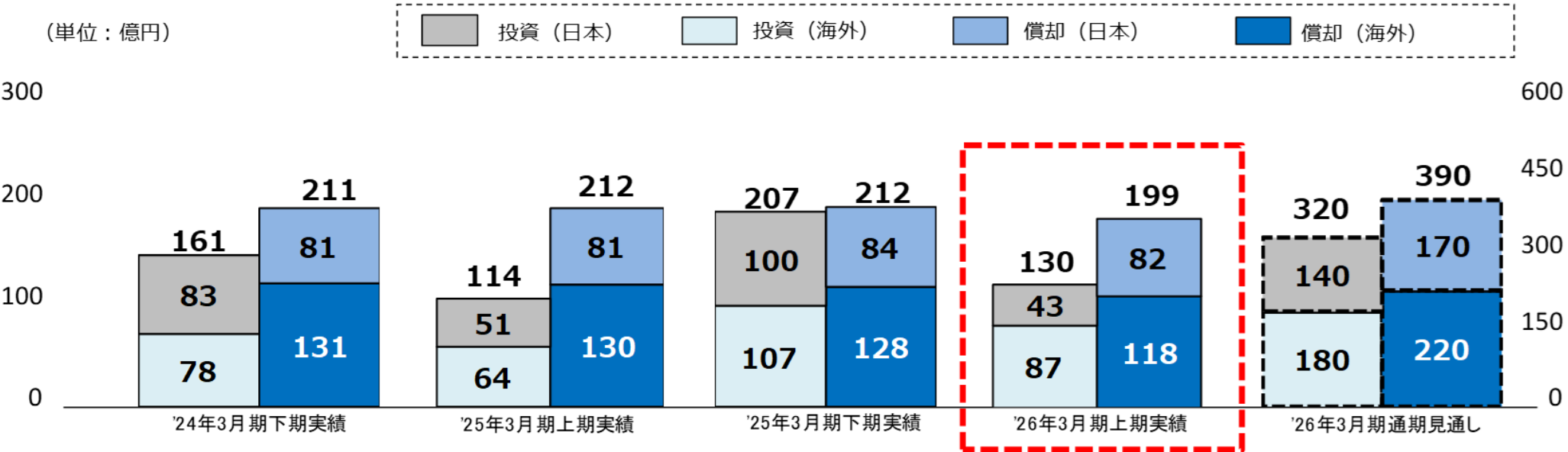
営業利益





(億円)	'24年3月 実績	'24年6月 実績	'24年9月 実績	'24年12月 実績	'25年3月 実績	'25年6月 実績	'25年9月 実績	'26年3月 通期見通し
棚卸資産	2,648	2,739	2,553	2,667	2,444	2,439	2,460	2,300
(日本)	(766)	(789)	(782)	(782)	(760)	(772)	(747)	(720)
(海外)	(1,882)	(1,950)	(1,771)	(1,885)	(1,683)	(1,668)	(1,713)	(1,580)
棚卸資産回転率(回)	3.2回	3.1回	3.2回	3.1回	3.4回	3.3回	3.3回	3.5回

⑧設備投資・減価償却費

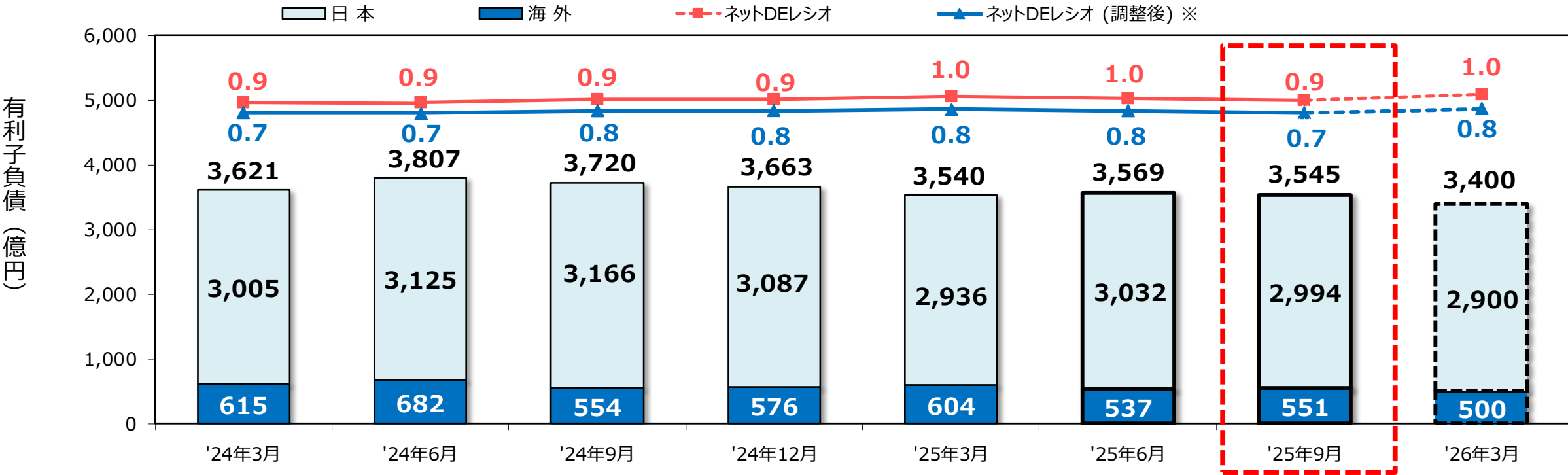


	'24年3月期 (億円) 下期実績	'25年3月期 上期実績① 下期実績	'26年3月期 上期実績②	増減 ②-①	'26年3月期 通期見通し
設備投資	161	114	※ 130	16	320
(日本)	(83)	(51)	(43)	(△7)	(140)
(海外)	(78)	(64)	(87)	(23)	(180)

※他に、無形固定資産投資額があります。'26年3月期 4-9月実績：14億円 '26年3月期 通期見通し：50億円

	'24年3月期 (億円) 下期実績	'25年3月期 上期実績① 下期実績	'26年3月期 上期実績②	増減 ②-①	'26年3月期 通期見通し
減価償却費	211	212	199	△12	390
(日本)	(81)	(81)	(82)	(1)	(170)
(海外)	(131)	(130)	(118)	(△13)	(220)

⑨有利子負債

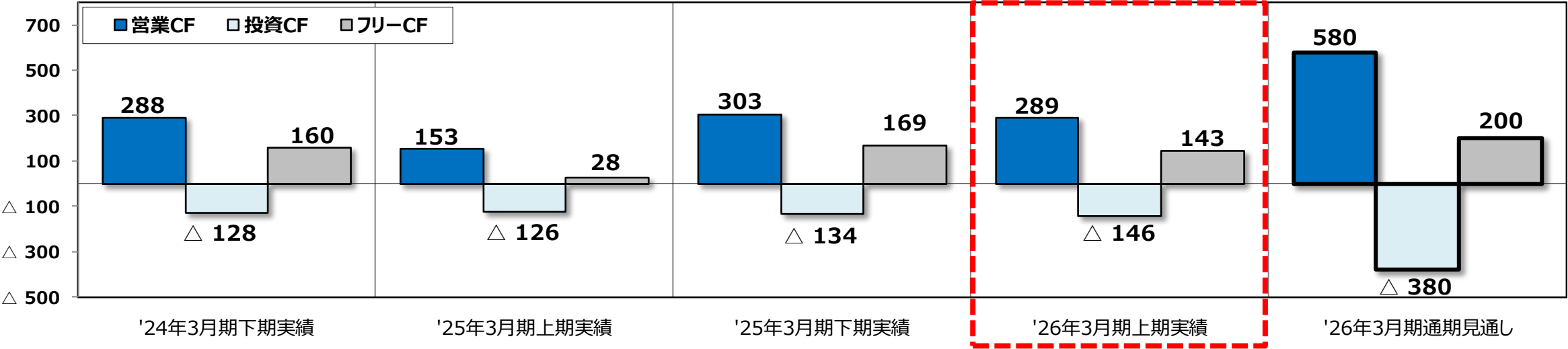


(億円)	'24年3月 実績	'24年6月 実績	'24年9月 実績	'24年12月 実績	'25年3月 実績	'25年6月 実績	'25年9月 実績	'26年3月 見通し
有利子負債	3,621	3,807	3,720	3,663	3,540	3,569	3,545	3,400
(日本)	(3,005)	(3,125)	(3,166)	(3,087)	(2,936)	(3,032)	(2,994)	(2,900)
(海外)	(615)	(682)	(554)	(576)	(604)	(537)	(551)	(500)
ネット有利子負債	2,348	2,432	2,347	2,381	2,263	2,201	2,180	2,145

※公募ハイブリッド社債の資本性認定部分（50％）を調整。

⑩キャッシュ・フロー

(億円)	'24年3月期 下期実績	上期実績①	'25年3月期 下期実績	通期実績	'26年3月期 上期実績②	②-①	'26年3月期 通期見通し
I. 営業活動による キャッシュ・フロー	288	153	303	456	289	135	580
II. 投資活動による キャッシュ・フロー	△128	△126	△134	△260	△146	△20	△380
I + II. フリー・キャッシュ・フロー	160	28	169	197	143	115	200
III. 財務活動による キャッシュ・フロー	△344	86	△273	△187	△77	△163	△230
IV. 現金及び現金同等物 に係る換算差額等	15	△13	8	△5	23	35	△30
V. 現金及び現金同等物の 増減額	△168	101	△97	4	89	△12	△60





- 本資料およびプレゼンテーション、引き続き行われる質疑応答の際の回答には、将来の業績見通し、事業戦略が含まれており、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。
- これらの将来的予測に基づく記載や発言は将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が製品に対する需要変動、為替変動、金利変動、偶発債務などのさまざまな要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。